

### I 第9週の発生動向 (2016/2/29~2016/3/6)

- インフルエンザについては、八戸保健所、東地方+青森市保健所、むつ保健所管内では**警報**が続いています。また、上十三保健所管内では**注意報**が続いています。  
なお、五所川原保健所管内で**注意報**が解除されました。
- 流行性耳下腺炎については、東地方+青森市保健所管内で第7週から**注意報**が継続しています。

### II 第9週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、**警報・注意報**については青森県の感染症発生状況 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東青 (東地方保健所・青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (八戸保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		
小児科 内科	252	19.38	137	9.13	167	11.13	52	7.43	215	23.89	175	29.17	998	15.35	-100	
小児科	RSウイルス感染症		2	0.22					1	0.17	1	0.25	4	0.10	4	
	咽頭結膜熱		1	0.11	5	0.50	2	0.40	1	0.17			9	0.21	-8	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	17	2.13	12	1.33	33	3.30	1	0.20	4	0.67		67	1.60	-14	
	感染性胃腸炎	26	3.25	23	2.56	41	4.10	15	3.00	15	2.50	18	4.50	138	3.29	-11
	水痘					1	0.10	2	0.40	1	0.17		4	0.10	-14	
	手足口病										1	0.25	1	0.02	0	
	伝染性紅斑										2	0.50	2	0.05	-2	
	突発性発しん	4	0.50	5	0.56	9	0.90	1	0.20	3	0.50		22	0.52	9	
	百日咳														0	
	ヘルパンギーナ							1	0.20				1	0.02	1	
流行性耳下腺炎	24	3.00	2	0.22					3	0.50		29	0.69	2		
眼科	急性出血性結膜炎														0	
	流行性角結膜炎				2	1.00							2	0.18	-4	
基幹	クラミジア肺炎														0	
	細菌性髄膜炎														0	
	マイコプラズマ肺炎										3	3.00	3	0.50	-1	
	無菌性髄膜炎														0	
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)														-3	

### III 全数把握疾患 (掲載数は最新情報)

- 結核(二類全数把握疾患): 弘前1人、八戸1人、五所川原1人、上十三1人 (2016年計:45人)

### IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

## 感染症の窓

### 流行性耳下腺炎 (五類定点把握疾患)

流行性耳下腺炎はムンプスウイルス感染により耳下腺が腫脹する感染症です。「おたふく風邪」とも呼ばれています。

2015年第40週以降現在まで(9/28~)の定点当たり報告数は、全国及び青森県でほぼ同様に推移しましたが、東地方+青森市保健所管内では増減を繰り返しつつ注意報レベルの基準値3以上となる週が第49週以降見られ、注意報が度々発令されています(図1)。この地域では今後も発生動向に注意が必要です。

上気道を介してウイルスを吸い込み飛沫感染したり、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れて接触感染すると、2週間~3週間の潜伏期(平均18日前後)を経て、耳下腺の腫脹・圧痛、嚥下痛、発熱を主症状として発症しますが、通常1週間~2週間で軽快します。両側、あるいは片側の耳下腺に腫脹が見られますが、顎下腺、舌下腺にも腫脹が起こることがあります。物を噛むときに顎に痛みを訴えることが多いとされます。最も多い合併症は髄膜炎で、その他髄膜脳炎、辜丸炎、卵巣炎、難聴、腭炎などを認める場合があります。流行性耳下腺炎及びその合併症の治療は基本的に対症療法です。

飛沫、あるいは接触感染で伝播しますが、その感染力はかなり強いものです。効果的に予防するにはワクチンが唯一の方法です。青森県における年齢別患者報告数を見ると5歳をピークとした10歳未満がほとんどであり(図2)、集団生活に入る前にワクチンで予防しておくことが、現在取り得る最も有効な感染予防法です。

【参考】厚生労働省 HP、国立感染症研究所 HP

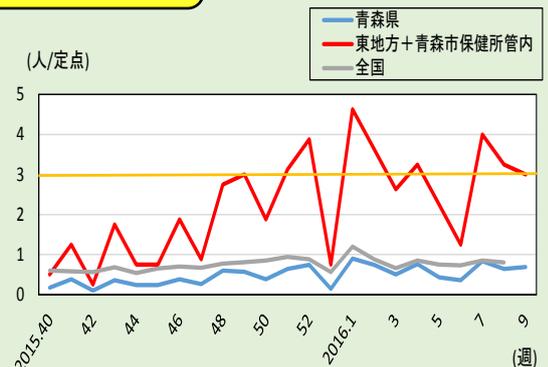


図1: 定点当たり報告数の推移 (2015年第40週~2016年第9週)

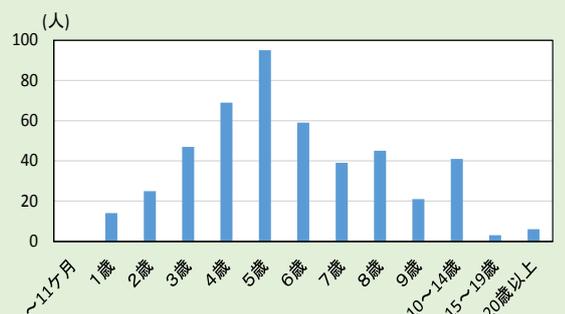


図2: 青森県における年齢別患者報告数 (2015年第40週~2016年第9週)

V 県内インフルエンザ情報（2015年第46週～2016年第9週）

第9週の患者報告数は998人で、このうち迅速診断キットによる型別が報告されているのは955人

【A型：601人、B型：352人、A型及びB型陽性：2人（八戸保健所管内）】でした。

**警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点**

（※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。）

保健所管内別届出人数（人）

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9
東地方					2					4	2	7	5	6	7	5	2
弘前			1			1	8	9	32	62	194	195	212	222	130	123	137
八戸							2	3	37	217	396	490	399	310	190	205	167
五所川原								6	14	38	84	84	125	163	119	104	52
上十三		1			1			1	16	35	89	178	232	264	251	236	215
むつ						2	11	2	6	24	40	86	159	197	241	184	175
青森市					1	5	23	14	37	83	264	328	455	481	282	241	250
合計	0	1	1	0	4	8	44	35	142	463	1069	1368	1587	1643	1220	1098	998

A型（迅速診断キットによる型別です）(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9
東地方					1					4	2	7	5	6	6	1	1
弘前			1			1	8	9	32	61	193	194	208	218	124	103	90
八戸							2	3	34	215	377	467	354	282	168	181	128
五所川原								6	14	37	84	82	125	160	117	92	39
上十三		1			1			1	14	34	80	159	202	208	211	149	143
むつ						2	11	2	6	22	36	60	98	144	163	122	104
青森市					1	5	23	12	37	82	252	307	422	453	236	165	98
合計	0	1	1	0	3	8	44	33	137	455	1024	1276	1414	1471	1025	813	603

B型（迅速診断キットによる型別です）(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9
東地方					1										1	3	
弘前										1	1	1	4	4	6	20	47
八戸									3		6	10	10	10	8	15	32
五所川原												2		3	2	12	13
上十三									2	1	8	16	22	46	26	74	53
むつ										2	4	26	61	53	78	62	71
青森市								2		1	6	9	11	16	38	67	138
合計	0	0	0	0	1	0	0	2	5	5	25	64	108	132	159	253	354

年齢区分別(人)

週	46	47	48	49	50	51	52	53	1	2	3	4	5	6	7	8	9
～5ヶ月											3	3	5	7	7	3	2
～11ヶ月									4	7	13	12	26	35	18	16	16
1歳							1	2	5	23	47	77	82	75	64	46	53
2歳							1	4	3	16	47	65	89	78	58	45	48
3歳							1	1	1	17	50	73	90	80	53	58	34
4歳								1	8	25	63	116	94	94	76	74	71
5歳							1	2	5	23	76	122	89	111	95	82	74
6歳							1	1	3	29	70	96	107	101	64	67	67
7歳					1	2	6	1		13	72	72	103	101	71	55	62
8歳							4	1	3	14	66	55	87	54	57	62	43
9歳						1	3		2	7	58	64	79	59	54	50	38
10～14歳					2		4	1	4	29	99	145	220	201	154	139	137
15～19歳					1	4	11	3	9	18	42	51	64	68	28	32	33
20～29歳							1	2	10	35	39	48	57	78	52	41	46
30～39歳		1					3	6	20	47	68	95	105	157	100	82	70
40～49歳						1	4	3	18	60	92	103	104	116	84	74	66
50～59歳							2	2	22	45	65	71	87	91	76	72	55
60～69歳							1	3	18	32	58	61	57	80	69	37	52
70～79歳			1					1	5	14	27	26	27	33	27	42	20
80歳以上								1	2	9	14	13	15	24	13	21	11

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2015年第52週～2016年第9週）

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
52	H27.12.21 ~ H27.12.27		水痘(入院例)1人 梅毒1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人	アメーバ赤痢1人		
53	H27.12.28 ~ H28.1.3		レジオネラ症1人				
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	E型肝炎1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	E型肝炎1人 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			水痘(入院例)1人	
2	H28.1.11 ~ H28.1.17			レジオネラ症1人			
3	H28.1.18 ~ H28.1.24	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人				
4	H28.1.25 ~ H28.1.31	アメーバ赤痢1人	クロイツフェルト・ヤコブ病1人				
5	H28.2.1 ~ H28.2.7						
6	H28.2.8 ~ H28.2.14	デング熱1人	E型肝炎1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 梅毒1人			
7	H28.2.15 ~ H28.2.21				E型肝炎1人	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人	
8	H28.2.22 ~ H28.2.28	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1人			
9	H28.2.29 ~ H28.3.6						

VII 結核(二類全数把握疾患) (2015年第52週～2016年第9週) (人)

週	期間	東青 (東地方保健所・ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (八戸保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
52	H27.12.21 ~ H27.12.27	2	6	5			
53	H27.12.28 ~ H28.1.3		1			1	
1	H28.1.4 ~ H28.1.10	2				1	
2	H28.1.11 ~ H28.1.17	3	1		1	2	
3	H28.1.18 ~ H28.1.24	1	3	2	2	1	
4	H28.1.25 ~ H28.1.31	1	1				
5	H28.2.1 ~ H28.2.7	2	5	1			
6	H28.2.8 ~ H28.2.14	1				1	1
7	H28.2.15 ~ H28.2.21	2		1	1		
8	H28.2.22 ~ H28.2.28	1	1	2		1	
9	H28.2.29 ~ H28.3.6		1	1	1	1	

VIII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注: 発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国 (2016年第1週～第8週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	結核	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	回帰熱	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ツツガシラ	デング熱	日本紅斑熱	マリア	レジオネラ症	リフトスピア症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症
累積報告数	3134	25	105	8	2	63	46	2	1	1	2	30	38	3	3	169	3	189	36	214	184	35	92

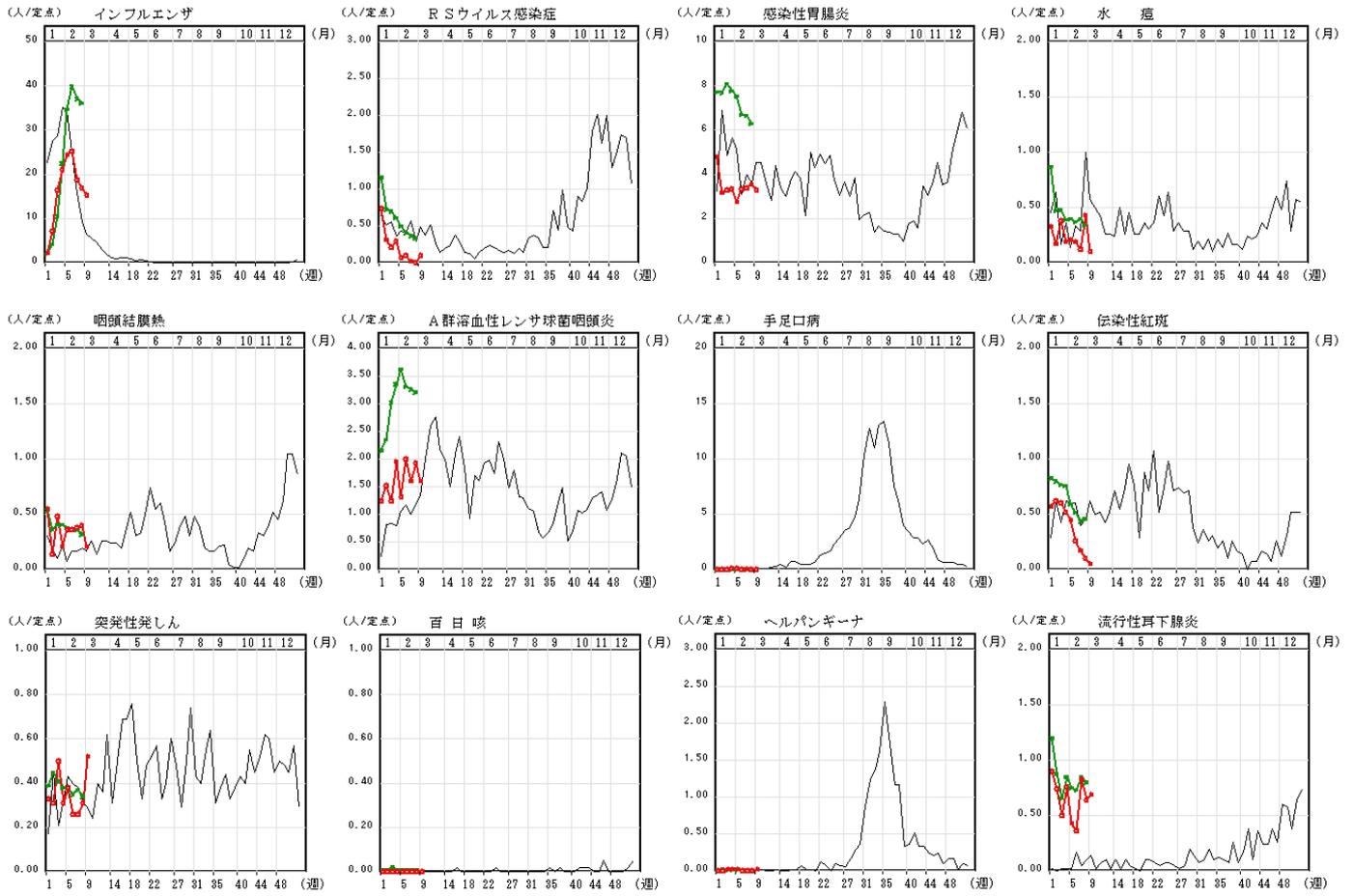
分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性心臓病	侵襲性髄膜炎	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒	播種性クジラコックス症	破傷風	パンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	204	9	47	7	483	36	512	19	7	4	10	2	6

青森県 (2016年第1週～第9週累計)

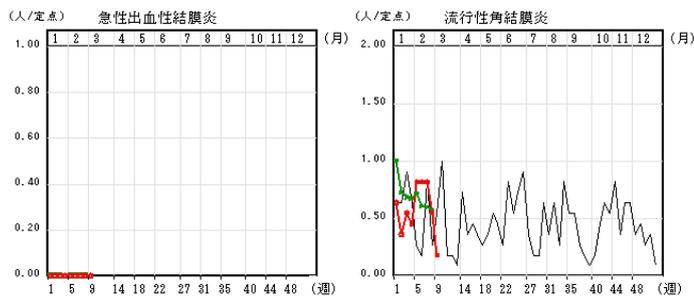
疾病名	結核	E型肝炎	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘(入院例)	梅毒
累積報告数	45	4	1	1	1	7	1	1	1	1	1

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2016年第9週、但し全国は前週)

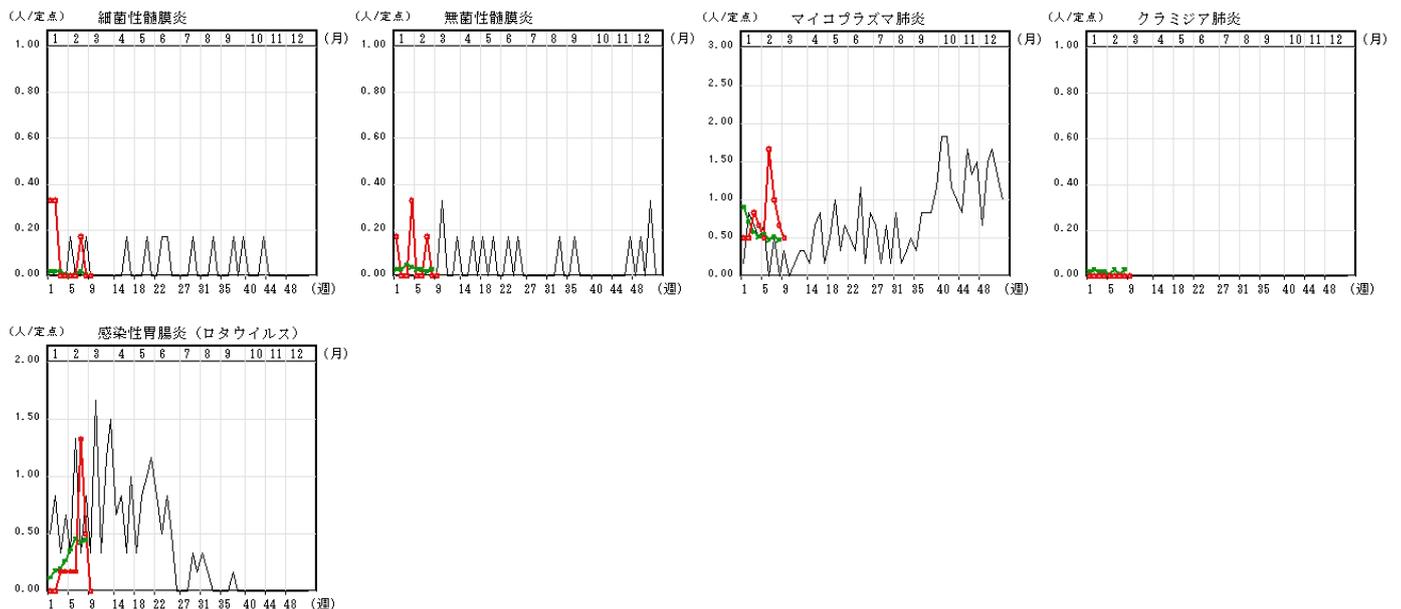
グラフの説明 ○—○は2016年青森県、——は2015年青森県、 ×—×は2016年全国



X 眼科定点把握疾患週別推移 (2016年第9週、但し全国は前週)



XI 基幹定点把握疾患週別推移 (2016年第9週、但し全国は前週)



## XII 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成17年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

第9週は報告がありませんでした。

### 平成28年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	3	0	3
	発症者数	0	84	0	84
児童・婦人関係施設等	件数	0	2	0	2
	発症者数	0	26	0	26
障害関係施設	件数	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0
その他施設	件数	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0
計(月別)	件数	0	5	0	5
	発症者数	0	110	0	110